

穏やかな社会変革としての演劇的手法—プレイバックシアターの挑戦—

チーム医療—地元プレイバックシアター劇団と共にチームワークを学ぶ

岡田麻里¹⁾、竹内千夏¹⁾、欠田美奈子²⁾、糸島百子²⁾、宮井三宝子²⁾、加藤美幸²⁾、黒住有里²⁾

1)香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科 2)プレイバックシアター劇団365

目的: 地元の劇団と大学教員が協働で実施したチーム医療の授業(2022~2024年度)を振り返り、プレイバックシアター(以下PB)を活用した授業の成果を検討する。

参加者: 看護学科3年次生(チーム医療選択科目)、看護学科教員(参加希望者)、地域健康サポーター実習を受け入れている指導者等(参加希望者)

倫理的配慮: 参加者には事前に授業紹介および授業中の写真活用の了解を得た。プライバシー保護のため、授業内で語られた参加者のストーリーに関する記述は伏せた。

大学HPで紹介



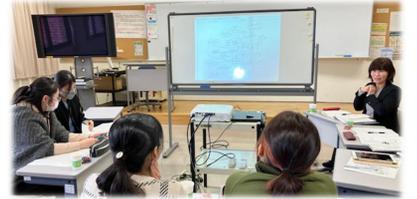
授業紹介: 全体で8コマ

第1・2回【講義】「チームとは」「在宅ケアにおけるチーム医療」

第3・4回【講義】「退院支援におけるチーム医療」

第5・6回【演習・GW】「在宅ケア移行期にある患者への多職種チームによる支援を考える事例検討」

第7・8回【WS・公演】「頭と心を体をバランスよく使いチーム医療を学ぶ—PBの体験—」



事例検討の様子

2024年度チーム医療「頭と心を体をバランスよく使いチーム医療を学ぶ」演習の概要と実際の授業の様子

【目的】

- 1) 劇団とともにPBを体験し、楽しむ
- 2) 他者と協働した体験を見つめなおし、ストーリーとして語ってみる
- 3) ストーリーを通して参加者同士の相互理解を深める

【タイムスケジュール】

時間	主な流れ	内容
【ワークショップ】: テーマ『語りやすい場づくり』		
20分間	オリエンテーション 自己紹介・自己の目的 ラジオ体操	授業の目的の説明: 演劇的手法で理解を深める 輪になり名前・呼ばれたい名前・授業の中での自分の目標 身体を動かし緊張感ほぐす
30分間	マッピング・ソシオメトリー	どこの出身(出身県)? PBのこと知ってる?: 全く知らない………熟練者 初めてすることに対して?: とっても緊張………大丈夫 誰かと何かを一緒にすること?: 絶対いや………大好き
10分間		(休憩)
30分間	HA回し 人と鏡 4人組で「自分のことを語る」	
10分間		(休憩)
【公演】: テーマ『チーム医療』プレイバックシアター劇団365		
70分間	ショートフォーム(2本) ストーリー(5本) クロージング・ショートフォーム(2本)	
【クロージング】: テーマ『輪になり感想・学びの共有』		



輪になって自己紹介



劇団365メンバー



学生の語りを傾聴



音楽と演劇による表現
(ショートフォーム)



語りを全身で表現
(ストーリー)



PB終了後にはみんな笑顔!

結果

●チーム医療でPBをとり入れたのは2022年度からであった(左記表)。初年度は、選択した学生は10名であった。感染症予防のためオンラインでの開催とした。2023年度は学生の選択希望者がいなかったため授業は開講しなかった。2024年度は5名の選択学生及び参加希望の教員3人、地域健康サポーター実習指導者が3人が希望し参加した。

●ワークショップ形式で、学生の緊張を和らげ語りやすい場を設けた。オンラインと比較すると、対面形式の方が学生は手を挙げて語りやすいようであった。対面では学生はショートフォーム・ストーリーのいずれかに手を挙げて語ることができた。ショートフォーム・ストーリー(5本)では、参加者から比較的スムーズに手が上がり、学生・教員・実習指導者の語られたストーリーが即興で演じられた。

●語られた主なストーリーは、他者と一緒に何かを行った体験の難しさ・勇気、できた時の達成感・喜び・安心感、上手いかず後悔やもやもやした感情が残ったこと、普段と違う困った状況乗り越えようとする中で他者と協働せざるを得なかったこと等であった。

●クロージングでの感想は、「話やすかった」「何をさせられるのか最初は不安だったがリラックスできた」「癒された」「他の人の話を聴いて気持ち一杯になったが自分の感情を感じる」等であった。年代や社会的背景の異なる参加者がPBを通して個人の体験を共有でき、一体感を感じ、一つのチームを形成することができた。

考察

PBは、学生がチームやチームワークについて、身近なストーリーを通して学ぶ機会になり、チームを形成するプロセスを体験できたという成果があった。互いのストーリーを語り合い、聴き、演技を観ることを「心地よい」と感じる雰囲気を作ることができたのは、地元劇団員と教員がPBおよび学習目的の共通理解があったことによると考える。地元の劇団との連携によるプレイバックシアターを活用した授業は、チーム医療を学ぶ授業において有意義であった。今後の課題は、PBに関する紹介を行い、学生の関心を高め、抵抗感を軽減することでチーム医療の選択科目を選択する希望者を確保することである。

チーム医療におけるPBを活用した授業

	2022年度	2023年度	2024年度
形式	オンライン	-	対面
主な内容	WS	-	WS
	リスニングアワー 公演		公演
選択学生	10人	-	5人
希望教員	1人	-	3人
地域	0人	-	3人